



でんでんむし



9月になりました。

9月になり、子育て支援センター「でんでんむし」も早6ヶ月目を迎えました。この間、開設された4月から利用されていた生後4ヶ月の赤ちゃんが、首が据わり、お座りができるようになり、今では、はいはいも上達し、つかまり立ちを始めたり、おむつ替えを嫌がったり、両手を上げて“抱っこして”と訴えるなど、本当に子どもの成長の早さを感じる今日この頃です。

子どもの成長は喜びである反面、本当に大変ですね。赤ちゃんとの新しい生活では、ミルク、おむつ替え、抱っこ、健診、予防接種…。たくさんの「初めて」がいっぱいですし、赤ちゃんが生まれてから3才ぐらいまでは、特に成長が目まぐるしく、毎日が発見や驚きでいっぱいです。赤ちゃんの成長を安心して見守るために、赤ちゃんの成長のこと、お世話のこと、関わり方について、また地域の子育て情報など、これからも「でんでんむし」はみなさんをサポートしていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

～子育てワンポイントアドバイス！～

—身近な危険(ポットでのやけど)— 赤ちゃんの周りには危険なものがたくさんあります。赤ちゃんは何が危ないものかわかりません。赤ちゃんにとって一番身近な危険はやけどです。ポットを倒してやけどをさせた例が数多くあります。押せばすぐ出る式のポットは手の届くところには置かないようにしましょう。また、赤ちゃんはよく小さなものを拾います。サランラップ、ビニール袋などで窒息した例がありますし、乾燥剤や酸化防止剤をかんだり、口に入れて呑み込んだりしてしまふこともあります。ホッチキスの芯もあぶないですし、ボールペンのキャップなどを喉に詰まらせた例もあるそうです。大人は、子どもの目線で周りを見てみることも大切ですね。

—いっしょに遊ぼう— 子どもは、お母さん、お父さんの歌は、大好きです。歌やリズムに合わせて、手や体を動かしてあげましょう。

～ポイント～

- 親子向かい合って足をのばして座ったり、膝の上に乗せたり、手をつないだりして、身近な歌に合わせて体の動きを楽しませてあげましょう。
- お母さん、お父さんが歌を歌いながらの絵かき歌は、子どもがとても喜びます。また、口の動きを見て、子どもはすぐに歌を覚えます。いろいろな絵を描いてみましょう。
- 歌に合わせた手遊びも楽しいものです。お母さん、お父さんなりにいろいろ工夫して、子どもと一緒にやってみましょう。



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の8月の主なイベントから ～

「子育て講話」24日

佐賀女子短期大学の白根恵子先生を講師として迎え、「絵本を楽しむ 家族でよみかせせ」という演題でお話いただきました。お話の中で、「読み聞かせは同空間(例えば家の中)、同時間、同世界を共有する。このことに意味があり、読み聞かせを通し内容を教えるなど、結果を求める必要はない。」また、「見守る子育て」として、「子どもが転ばないように…ではなく、転んでも立ち上がる子どもに育てることが重要。」が特に心に残りました。白根先生ありがとうございました。



「子育てイベント(食育)」30、31日

当日は「三食を上手に使おう」という内容でした。内容は「一日の三食がバランスのよい食事となるよう、三色の様々な食材を選ぶ」でした。三色(黄:エネルギーの素、赤:血や肉の素、緑:体の調整の素)の様々な食材を選び、親子でおいしくいただきました。講師の小島先生、また学生のみなさん、ありがとうございました。参加者からは「料理がおいしかった。」「味付けや子どものメニューの参考になりとてもよかったです。」など、とても好評でした。



今月のメニュー

- 7日 10:30～「読み聞かせ」
- 13日 10:30～「赤ちゃん広場」
※ 利用者支援事業(パラソル)、ファミリーサポート事業(にじいろ)と共催。
- 15日 10:30～「子育てイベント」
・内容:食育「とりわけ で手間なし離乳食」
・講師:佐賀女子短期大学 専任講師 小島菜実絵先生
- 20日 10:30～「お誕生日おめでとう」※児童館と合同。
☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117](みんないっしょこいいな)

